

# IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第43回会合 発言録

2023年12月18日

【加藤】 それでは、そろそろ始めたいと思います。聞こえておりますでしょうか。皆さん、こんにちは。

【前村】 聞こえております。

【加藤】 ありがとうございます。いつものとおり、山崎さんのアジェンダに沿って進めさせていただきたいと思います。

まず、その後、何か日本政府からの御報告とか、お話しいただくことはありますでしょうか。今日は総務省関係の方、お出になっていらっしゃる方はいらっしゃるんですね。

【山崎】 データ課の片柳さんがおいでですが。

【加藤】 ああ、そうですね。

【山崎】 国際戦略局の岡崎さんからは、今回は（報告する内容が）ないので。

【加藤】 今回ないというお話だったですね。

【山崎】 ないので、スキップさせてくださいという御連絡が来ておりますが。片柳さん、もし総務省から何かあればお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

【加藤】 今まで片柳様は御発言いただいたことがないかもしれないので、もし自己紹介だけでもいただければと思うんですが、いかがでしょうか。

お出にならないようでしたら、また引き続き、後でもお願いしたいと思います。よろしいですかね。

それじゃ受任ということで、次にMAGの報告ということで、河内さん、お願いしたいと思います。

【河内】 聞こえるでしょうか。

【加藤】 聞こえております。

【河内】 すみません。MAGの報告をさせていただきます。先週金曜日の夜に、MAGの2024年の第1回目の会議が行われました。MAGの会議は十何名かが入れ替わったと思うんですけども、2024年第1回目ということで、いつも第1回目のときは、MAGってどういうことをするのかとか、どういう会議がこの先あるのかとか、そういう何か導入が多かったような気がするんですけど、今回はそういう導入がほとんどなくて、タイムライン、今年のスケジュール、12月にサウジアラビアのリヤドで行われるIGFに向けてのスケジュール案という

のが、もう既に先週、このMAGの会議に先立って、メールで事務局から送られてきていて、それを基にいろいろ説明とかがありました。

タイムラインは、ちょっと送るのが大丈夫かなとも思うんですけど、一応今、共有だけさせていただくかなと思うんですけど、よろしいでしょうか。

【加藤】 お願いします。

【河内】 画面共有って、これで見えていますか。

【加藤】 見えました。

【河内】 IGF 2024 Timeline (Draft) ということで、今年のMAGの会議が京都であって、辞めるMAGの方々と新しくメンバーになったMAGの方々の紹介とか、ここで引継ぎみたいなのが行われたのが10月9日です。その後、京都の会議のまとめとかがあって、11月29日から2024年のIGFのテーマの提案の募集が、1月31日までの締切りで行われています。一番下、第1回目のMAGの会議と、あとはOpen Consultationがリヤドで、2月28日から3月1日に行われる予定です。

それとほとんど一緒の時期ですけれども、Intersessional Workが3月1日から開始。それからワークショップとか、ほかのセッションの提案の募集が、3月15日から4月30日までの予定。その後、Villageの募集が3月15日から4月30日。それからRemote Hubsの募集、それが3月15日から7月30日まで。

それから、ワークショップとか、ほかのsessionのEvaluation、評価作業のほうはMAGと事務局で行われるのが、5月7日から6月23日で、その後、第2回目の対面の会合が、これはジュネーブで6月24日から28日にあると。これはTBCなので、ちょっとまだ確定じゃないのかもしれないです。それから、2024年のIGFのスケジュールとかVillageのプランを策定するのが7月から9月です。それから、IGFのRegistrationが8月1日から。Bilateral Meetingとかのリクエストが10月1日から公表されるのかな。

結局、最終的にIGF 2024はリヤドで、ここはTBCになっていますが、会議中に発表されたのは、一応今の予定では12月17日から20日に開催される予定で、今はスケジュールを組んでいるというふうに発表されました。これは下には書いていない。ここには書いていないですね。すみません、ここには書いていないですけども、先週の金曜日の会議では、12月17日から20日という予定だと発表されました。

場所は、サウジアラビア・リヤドの、すみません、ちょっと名前がすぐ出てこない。ここに、私はレポートに書いたつもり。ありました。キング・アブドゥルアズィーズ・インターナショナル・カンファレンス・センターという、ほとんどリヤドといえばそこぐらいしかないんじゃないかと言われているんですけど、そこで行われる予定です。

そういうことで、あとはMAGの会議で話し合われた内容は、すみません、そうですね、MAGのチェアが今回、キャロル・ローチという、バハマの政府の人に新しく替わりました。

その人から挨拶があったのと、それから、来年のホストであるサウジアラビアのデジタル政府機関の代表の方がMAGのCo-chairになったので、その方からも御挨拶がありました。

それから、IGFの2023のサマリーは、今まだ、事務局がつくったレポートとかがコメント募集になっていますけれども、それが確定した時点で、印刷して、いろいろなところに配布したいというふうに言っていました。

それからあとは、MAGのワーキンググループが昨年2つあって、1つはワークショップのエバリュエーションプロセスです。ワークショップの評価のプロセスについて、もうちょっとちゃんと明確にするべきじゃないかという意見があって、それに関するワーキンググループが行われて、それも今年もやるということで、代表者のピース・オリバーという女性から口頭で説明がありました。

それからもう一つ、IGFストレングスニング・アンド・ストラテジーということで、IGFをより強化して、その戦略を考えるワーキンググループというのがありまして、それも今年も引き続きやりたいと。サミット・オブ・ザ・フューチャーでGDCが発表されるとか、それからリーダーシップパネルとか、UN Tech Envoy（国連技術使節）とかとMAGで、どのように意見交換をして、どのように関わって、そういうことについて検討していくべきか。

それからインターセッショナル活動とか、NRIとの関わり方、それ以外にもネットムーンディアルプラス10とかが行われる予定になっているようで、そういうほかのインターネットガバナンス関連の国際会議に、IGFとしてどういうふうに関わっていくべきかとか、そういうことを検討していきたいということが、代表のクリス・バックリッジから発表がありました。

あとは、1つ何か、ベストプラクティスフォーラムとポリシーネットワークを、もうくっつけちゃったほうがいいんじゃないか、ベストプラクティスフォーラムをポリシーネットワークに吸収してもいいんじゃないかという議論があって、でも内容は微妙にというか、何か違うからどうなのかとか、いろいろ議論があって、これについてはもうちょっと継続して検討しましょうということになりました。

それからもう一つ、先ほど、2024年のIGFが12月17日から20日の予定というふうに発表されたんですけども、これは17、18、19日の4日間しかないんです。4日間だとDay 0ができない。何かちょっと詳しい事情はそこで言われなかったんですけど、日程の都合なのかちょっと分からないですが、Day 0はオンサイトでできないので、オンラインでやったらどうか、昔そういうふうにしたことがあるとかと、事務局が一生懸命説明していました。

そういうやり方にするかもしれないみたいなことを言われて、それに対してやっぱり、今年の京都でもDay 0で結構ハイレベルセッションが行われたりとか、Day 0がなくなると、全体的なセッション数もさらに減るんじゃないか、減らさなきゃいけないんじゃないかとか。なので、できればDay 0はオンサイトであったほうがいいんじゃないかという意見が

結構出されて、それに対してサウジアラビアの代表者が、ちょっと検討したいというふうに答えていました。

あともう一つ、MAGのバーチャルの会議を、もっと頻繁にやるべきじゃないかという意見があって、最初、2週間に一遍はどうだと言ったら、ちょっとワーキンググループも2週間とかに一遍あって、それに全部出ているととても大変だから、やっぱり月1回ぐらいでどうだろうかという話になって、次回は1月15日ぐらいの週で企画したいという話で終わりました。

以上です。すみません。ちょっと分かりにくかったかもしれないんですけど。

【加藤】 ありがとうございます。もう既にいろんなことが、今度のサウジアラビアの会議のために進んでいるようで、皆さん、御質問ございますか。

まず、2月28日の週のMAG会議ですけど、これは、今度はどういう年なんですね。

【河内】 はい。そうです。

【加藤】 29日もあるんですね。だから3日間ということですね。

【河内】 はい。そうです。

【加藤】 そうすると、オープンコンサルテーションもあって、MAG自体プラスオープンコンサルテーションで3日間あるということですね。

【河内】 はい。

【加藤】 それでもう、実際のサウジアラビアの会議の日程は、12月17から20日ということも、もうほぼ確定なんですね。この方向としては。

【河内】 これは、できれば11月にやりたかったらしいんですけど、何かG20との兼ね合いで、11月は無理ということになって、この日程になったみたいなことを言っていました。

【加藤】 そういう意味ではもう、かなりこの日程は確定で、Day 0がどうするかということぐらいであると。

【河内】 サウジアラビアなので分からないですけど、今のところそう言っていました。

【加藤】 17日って火曜日なんですよ。だからDay 0があるとしたら月曜日かなと。これは何か理由があるんでしょうね。

【河内】 その日に何か別の会議があって、重要人物の予定が空いていないとか、そういうのか分からないですけど。

【加藤】 分かりました。皆さん、いかがですか、御質問等。

ちなみにMAGのメンバーとして、日本政府からは、今年はどうなるんですかね。同じように継続していただいているんですかね。

【河内】 正式なMAGメンバーには多分、日本政府の方は入られないと。

【加藤】 ということになるんですか。

【河内】 はい。

【加藤】 分かりました。

【河内】 もちろん、例えばこの間の金曜日の会議に、多分飯田さんのお名前を見たので、別に参加するのは問題ないと思うんですけど、正式なMAGメンバーからは抜けられているんじゃないかと思います。

【加藤】 分かりました。そういう意味では、今後はというか、今年1年は、河内さんがメインコンタクトになっていただくというイメージでよろしいんですね。

【河内】 はい。頑張ります。

【加藤】 あと、いかがですか、皆さん。上村先生、お願いします。

【上村】 上村です。Day 0の件ですけど、Day 0ってもともと公式プログラムの中には厳密には入っていなかったんで、勝手にする人たちが最初は多かったと思うんですけど、だんだんそれが、効率が悪いだろうからというので、プログラムに組み込んで、しかも会場も手当てするようになったという経緯だと思うんです。

なので、勝手にやる分にはDay 0をやっても構わないんじゃないかと思ったりする一方で、サウジアラビアではそういうことがなかなか難しかったりするのだからかとも思ったりするんですけども、その辺の勘どころというのか、肌感覚というのか、どうなんでしょう。勝手にやる分には構わないという感じになるんですか。

【河内】 何かちょっとよく分からないんですけど、例えば、前も後ろも本当に1日……。例えば前は駄目でも、後ろにずらせるなら後ろにずらせばいい話で、両方とも本当に駄目なのか、ちょっとその辺はよく分からない感じ。何か事務局もあまり、どうしてもDay 0をやってほしいとリクエストしているのかどうかもちょっと微妙な感じを、私の勝手な感覚ですけど受けたので、何かどんどん増えていっちゃうと、セッションもどんどん増えて、お金もかかるし、手間もかかるしと思っているのかどうか、ちょっとそこは私の勝手なあれなので分からないですけど。

ただ、Day 0をオンサイトでやるべき、やったほうがいいのかという意見が出たときに、検討すると答えていたのはサウジアラビアの人なので、事務局が答えたわけではないので、やっぱり現地の都合もあるんだろうなという感じはしました。

【上村】 ただ何か偉い人を呼ぶ必要はないので、Day 0を勝手にやってくださいぐらいでできるのではないかと思ったりしますが、分かりました。ありがとうございました。

【河内】 すみません。

【加藤】 山崎さん、お願いします。

【山崎】 何かたわいもないことかもしれませんが、多分サウジアラビアってイスラム教の国なので、金曜日、金、土というのは恐らくお休みの日にせざるを得ないので。

【河内】 なるほどね。

【山崎】 後ろに延ばせなくて、前にしか延ばせないんじゃないかと思います。前が駄目というのは、会場の都合なのか、ちょっと想像してもしようがないですけど、何か事情があるんでしょうねということだけしか想像できませんが、コメントでした。

【河内】 金曜日……。

【加藤】 どうぞ。ごめんなさい。

【河内】 いいです。いいです。大したことじゃないので。

【加藤】 よろしいですか。

【河内】 はい。

【加藤】 すみません。前村さん、お願いします。

【前村】 私も大したことじゃないんですけど。

【加藤】 いえいえ。

【前村】 イスラム教が金曜日おやすみというのはすぐに思いついて、それじゃ、金曜日が日程に入ってるのは何だろうなと思うわけなんです。

【河内】 それは私も言おうと思ったところです。

【前村】 で、何か御事情があるんでしょうねというのはそれだけの話なんですけど、あとキング・アブドゥルアズィーズ・インターナショナル・カンファレンス・センターというやつですかね。

【河内】 そうです。そうです。

【前村】 それですよね。

【河内】 そうです。

【前村】 何か、何でもキング・アブドゥルアズィーズになっていて、カンファレンスホールというのは、別のところにあったんです。

【河内】 カンファレンスセンターと言っていたと思います。

【前村】 カンファレンスセンターが一番立派で、横にリッツ・カールトンがあるので、それっぽいなと思います。

【河内】 そうです。横にリッツ・カールトンがあると言っていました。

【前村】 分かりました。今、ピンをグーグルマップに打ったところです。ありがとうございます。

【加藤】 結構町なかですよ。

【前村】 この辺が町なかなんですかね。行ったことがないので分からない。

【加藤】 いや、想像ですけども。

ほかは御質問ありますか、皆さん。特にございませんか。Day 0についてもまだひょっとしたら復活の可能性もあるということ。

【河内】 当日検討するとは言っていました。

【加藤】 分かりました。

それでは、この件は取りあえずよろしいですか。何か思いつかれたら後でまた、河内さんはいらっしゃるでしょうから、聞いていただいてもと思いますが。

それじゃ、次のアジェンダに移りますが、もしこの間、先ほどの片柳さんも含めて、総務省の方がどなたかいらしてコメントがあればお願いしたいのですが、特にございませんか。

じゃ、取りあえず、次の案件に移らせていただきたいと思います。

いよいよ迫ってきましたIGFの報告会の準備状況ですけども、例によって山崎さんに大奮闘していただいて、かなり煮詰まってきたと思います。山崎さんにまたいきなりお願いしてよろしいでしょうか。今、準備状況、もうほぼ日程が決まったと思いますが、お願いしたいと思います。

【山崎】 では、山崎から報告します。

まず、現時点での参加申込者数ですけども、現地参加は9名、遠隔参加が20名となっています。会場が決まりまして、エッサム神田ホール1号館301というところになります。神田駅北口からはすぐですね。ですので、利便性はよいんじゃないかと思います。

まだ9名なので、まだまだ参加者は入りますので、余裕ということで。あまり増えていないのは、登壇者とかプログラムとかがまだ発表されていないので少ないと思いますので、明日には、これから御説明するプログラムについてアナウンスして、範囲も広げて、事前会合、日本インターネットガバナンス会議2023と同様に、ウェブの媒体ですが、いろんなところにお知らせして、参加者に多数来ていただきたいなと思っています。

プログラムは、現時点ですがこんな感じになっていまして、今回は登壇する方が多くて盛りだくさんなので、挨拶は簡素にして、もう加藤さんに簡単に御挨拶いただければいいかなと思って。これまでは村井さんとか総務省の方とかにお願いしていたんですけど、今回はそれはしておりません。ただ、村井さんは、この後述べますけれども、現地にいらっしゃいます。

火曜日ですけど、最初、総務省国際戦略局の方、飯田さんをお願いしているんですけども、ちょっと飯田さんはお忙し過ぎるようで。最初に候補が3つあって、年末と年明け2つ、お知らせしたところ、どれも大丈夫そうだという返事はいただいたんですけど、その後、御連絡しても返事がいただけなくて、多分、海外出張が続いてお忙しいんだと思いますけれども。ということで、この最初の枠は飯田さんを想定していますけれども、ちょっと登壇できるかどうか、確認はしたいところです。ですから、もし国際戦略局の方で霞が関にいらっしゃる方で、この方に連絡するといいよとかというのであれば、教えていただけると助かります。

その次は、京都情報大学院大学と京都コンピューター学院、KCGの田中様より報告いただけると伺っておりますが、オンラインになります。多分内容は、前回のこの活発化チームで御報告いただいた内容を、多少厚くしたものになるというふうに伺っております。

その次は、総務省データ通信課の西潟様より、オンラインで、御登壇いただいたセッションなどについて御報告いただく予定となっております。

その次は、現地に村井さんがお越しになって、御登壇になり、セッションなどについて…

【加藤】 山崎さん。今、村井さんからメールが来ていて、この日駄目になったから、次の日にしてほしいと。

【山崎】 そうですか。

【加藤】 たった今来ました。

【山崎】 何とか対応可能と。27日に登壇予定の方で、26日に動かせる方を探します。

その次に、福井健策弁護士、海賊版対策で活躍されている方ですけども、この方より、その海賊版セッションを中心に御報告いただけるそうです。20分で、現地予定ですが、状況によってはオンラインになる可能性があるということです。

最後、55分、参加者の感想・議論枠がありまして、上村さんには、ここの中で10分程度お話しいただけるというふうに伺っております。

JPNICから3名、フェローがIGF京都に行ったんですけども、その方々からも御報告いただけるという予定になっています。

27日水曜日ですね。こちらは、最初にJPCERTの登山様より、企画、登壇いただいたセッションについて御報告いただける予定になっています。

その次は立石さんですね。立石さんから、児童虐待に関するユニセフが主催したセッション、こちらの参加報告をいただけることになっています。



その次は、自由ヶ丘学園高校の教諭でいらっしゃいます今井様から、その高校生がADIのセッションに登壇なさいまして、そのことについて御報告いただけるというふうに伺っております。

その次には、国際大学グローコム、こちらの渡辺様より、2つほどセッションに登壇いただいたということで、御報告いただける伺っております。

その次がJPNICの前村から、メタバースセッションについて報告予定です。

その次に、40分間、参加者の感想・議論枠。

最後、今後の日本におけるIGFへの取組に関する意見交換という、2つのセッションを予定しています。

これまでのところで、何か御質問とかございますでしょうか。

【加藤】 山崎さん、先ほどの村井先生ですけど、27日の午後5時まで、17時までだったら調整可能という御連絡なんですよ。だから……。

【山崎】 前は、頭は何時。

【加藤】 何時からでもオーケーということですよ。

【山崎】 何時からでもですか。

【加藤】 はい。午後3時半からの時間もオーケーだという意味だと思います。

【山崎】 3時半からだったらオーケー。

【加藤】 ええ。だから立石さんのところか、今井さんのところ。

【山崎】 立石さんは26日は駄目だと伺っているのよ。駄目ですね。そうすると今井さん、渡辺さん、前村。

【加藤】 今、今井さんはたしかおいでになったような気がしました。

【山崎】 いや、こちらの今井さんは京都の大学の今井さんなので、違う方ですね。

【加藤】 ああ、そうか、そうか。

【山崎】 ですので、自由ヶ丘学園高校の今井さん、グローコムの渡辺さん、前村、もしくはJPCERTの登山さん。

【加藤】 グローコムの渡辺さんの時間は、もう村井先生はいらっしゃらないみたいですよ。

【山崎】 ああ、もう駄目ですか。じゃ、今井さんから前でないと駄目ということですね。

【立石】 立石ですけど、私の時間は後ろにずらしていただいて大丈夫です。

【加藤】 ああ。

【立石】 だから僕のを遅くしてもらって、どなたかを上に上げてもらうというのだと大丈夫です。

【加藤】 上に上げるというか、その時間に村井先生に入っただけだから。

【立石】 ああ、そうか。村井先生に入っただけ。

【山崎】 例えば、立石さんを繰り下げて、渡辺さんとかがもしオーケーということであれば、26日のそこに行っただけとかという調整はできると。

【加藤】 どなたか前日にいらしていただける方が決まればいいということですよ。

【山崎】 そうです。そういうことです。

【加藤】 ちょっと面倒だけど。

【山崎】 ちょっとそれはこの場じゃなくて、終わってから調整します。

【加藤】 よろしいですかね。あした発表と思っていたのがちょっとずれちゃうので。

【山崎】 補足情報ありがとうございます。当日までに固める必要がある点ですけども、最後の役割分担を決めることと、あとはその感想・議論枠のモデレーター。あと、丸腰で行って、何か議論が盛り上がるという気がないので、こういうポイントとか質問とかというのは事前に準備する必要があると思います。

あとは、2日目の一番最後、IGFの取組に関する意見交換。これもモデレーターを決めて、議論ポイントを決めなきゃいけないというところがあります。議論ポイントは別に、1週間あるので、それで決めるということもできるんですけど、ちょっとモデレーターは早々に決めさせていただきたいと思うんです。

あと、当日の役割分担も含めて。特に司会の方。これを本来はプログラム委員会で相談できればよかったんですけども、ちょっとその準備ができていませんで、ここで平場で皆さんにお伺いしてしまいますが、どなたか司会ができる方で、モデレーターができる方、手を挙げていただけませんか。

あまり挙がらないようですが、ちょっと打診させていただくと、例えば高松さん、司会とあって、前回も前々回もお願いしてはいますが、御都合的にいかがでしょうか。2日あるので、片方は高松さん、ほかの日は別の方とかということも、もちろんしたほうが良いとは思いますが。

【高松】 すみません、高松です。どこまで参加できるかが、今ぱっと答えられないという状態で。ほかの方がいらっしゃるなら、ぜひその方に通してやっていただくのがよいのかなとは思っているんですが。ちょっと今即答はできない感じ。

【山崎】 分かりました。河内さんをお願いしたいと思います。

【河内】 はい。今言おうかと思っていたんですが、私で可能なことであれば、やらせていただいても全然構わないです。

【山崎】 すみません、じゃ、お願いしてもよろしいでしょうか。

【河内】 私で大丈夫ですかね。高松さんほど上手には。

【山崎】 MAGに比べればはるかに簡単なお仕事です。

【河内】 何でもできることであればさせていただきます。

【山崎】 受付は、前回、CFIECの方々をお願いしたんですけれども、ひょっとして今回も、河内さんは司会なのでちょっと両方は無理だと思いますが、ほかの方で受付をお手伝いいただけたりしそうですね。

【河内】 これもこの間と同じぐらいで、そんなにたくさんどっと来るわけじゃないですよ。であれば、また私の同僚の堤さんをお願いできると思います。

【山崎】 そうしていただけると非常にありがたいです。

あとは、会場に来られる方でタイムキーパーをお願いできると。やっぱりバッファーとして休憩はかなり多めに入れましたけれども、実際に運営してみると結構時間が押しがちなので、そこは、あと何分とかというタイムキーパーは非常に重要となると思いますので、どなたか当日来られそうな方で、我々こそはという方、いらっしやいませんか。

【河内】 司会と兼務でよければ。多分山崎さんは結構時間。要するに裏で見てくださるんじゃないかと思うので、その指示に従ってっておかしいですけど。であれば、私が兼務しても大丈夫だったら、それでも構いませんけど。

【山崎】 じゃ、取りあえず河内さんに兼務していただくということで、ほかに手を挙げていらっしやる方がいらっしやれば、ちょっとその方にお渡しするということできましようか。

ちょっと私は、配信とかで手いっぱいなので、適切に指示ができるかどうかはかなり怪しいですね。河内さん、もしくはどなたか手を挙げていただいた方に、自立してちょっとやっていただく必要がありますね。台本みたいなのはお渡ししますので、それでできるようにしたいと思います。

レポート作成ですけれども、これもCFIECさんに前回はやっていただいたんですけど、何か何でもかんでもお願いして非常に恐縮なんですけど、今回もお願いできたりしますでしょうか。

【河内】 この間ぐらいでよろしければ、やらさせていただきます。

【山崎】 じゃ、よろしくお願いします。

モデレーターですけれども、1日目が感想・議論枠1つですね。2日目は感想・議論枠と、今後の日本のIGFに関する意見交換の1枠ということで、合計3枠あるわけですがけれども、どなたか。

どなたからもまだ手が挙がっていないということでしたら、1つは前村に依頼することにして、あと2つは、ちょっと御指名させていただこうかなと思うんですが、堀田さんは、この両日、最後のセッションって、御参加されますか。

【堀田】 私は1日目は大丈夫なんですが、2日目は多分駄目ですね。

【山崎】 じゃ、1日目の感想・議論枠のモデレーターをお願いできますか。

【堀田】 いいですよ。はい。

【山崎】 じゃ、よろしくお願いします。

2日目ですけれども、どちらか、感想・議論枠か、意見交換のモデレーターですが、意見交換のほうは加藤さんをお願いしちゃうと、多分加藤さんは平場でいろいろお話しいただくことになるので、両方は難しいと思うので、加藤さんに感想・議論枠のモデレーターをお願いしてもよろしいですか。

【加藤】 はい。仰せのとおり、何でも承りますけれども。

【山崎】 意見交換の方は、前村に依頼したいと思いますけど、大丈夫そうですか。

【前村】 はい。やります。立候補していないのは、そういうことが起こるだろうなと思って、それに構えております。

【山崎】 もしほかにどなたか手を挙げれば、別にそちらにバトンタッチしてもらってもいいんですけど、じゃ、取りあえずそういうことでお願いしたいと思います。

【前村】 はい。

【山崎】 今までにお伝えした中で、何か御質問ありますか。ないようでしたら、私からの報告はこれまでとさせていただきます。ありがとうございます。

【加藤】 いつも山崎さん、本当にありがとうございます。この各発表者の方とコンタクトして時間を確認していただくだけでも、大変な労力だったと思います。ありがとうございます。

特に追加の御質問等はありませんね。

【上村】 上村です。申し訳ありません。私の名前が何か出ていたような気がするんですが、12月26日、ちょっと家庭の事情で登壇できない可能性が高くなりまして。ただこの枠が、私がオンラインでも参加しないと成立しないというんだったら、何とか調整できるかもという感じなんですけど、どんな具合でしょうか。

【山崎】 そこまでコミットが必要なものではありません。27日にもし参加可能でしたら、27日にも感想・議論枠はありますので、そこで御報告いただければ。

【上村】 じゃ、27日は現地でも参加できるので、すみません、26日はちょっと名前を削っていただいてやっておいていただけると。

【山崎】 はい。承知しました。

【上村】 ありがとうございます。

【堀田】 堀田です。

【加藤】 堀田さん、お願いします。

【堀田】 スケジュールなんですけど、1日目が約4時間で2日目が約5時間って、随分長くなっているんですが、これはもうしょうがないんですかね。休憩10分というのは多分、山崎さんの経験からして、これぐらい取っていないと危ないということで、何か本当にこのとおり休憩を取ったら、非常に効率の悪い会議になっちゃうように見えるんですけど、これが最適という感覚ですかね、山崎さんからすると。

【山崎】 基本的にはもう休憩は5分とかに圧縮して、どんどん前に詰めたいところではありますけれども、そうですね、皆さんの都合とかもありますので、あまり詰めちゃうとというのはあるかもしれません。

あとは、感想・議論枠が本当にこの枠どおり埋まるかどうか。あまり感想が出なかったり、議論にならなかったりと、あまりそうならないように事前準備はしたいと思うんですけども、そういう場合は、枠を縮めて早く終わるようにはしたいと思います。ちょっと27日、20時近くまでというのは、ちょっと確かに時間がかかり過ぎかもしれないですけども、一応この最後の2枠は必須かと思ひまして、アレンジしております。

【堀田】 分かりました。

【前村】 前村ですけども、例えば、今ここで見えているところだと、渡辺さんから私のところに入る、その後の感想枠というところで、私のものとか、10分なのに、前後10分、10分入っているのが見えるので、全体的にこういう短いセッションは、固めて1時間ぐらいの固まりで休憩を入れるとかにして、若干は効率化できるんじゃないのかなと思いました。若干ですかね、それでも。

【山崎】 それは確かにそのとおりですね。ただ、先ほど出た村井さんのリスクが入りますので、ちょっとまた組み替えた後は、前に。

【前村】 そうですね。そんな感じで、少し効率性を追い求めてみてはいかがかと思ひます。

【加藤】 じゃ、最後の調整は山崎さんをお願いして、それが調整でき次第、プログラムを、2回目の案内ということで発信していただくことでよろしいでしょうか。

【山崎】 私は結構です。これは私じゃなくて、参加している皆さんに尋ねられているんですか。

【加藤】 ええ、そういうことですけれども。確かに時間が長いのは、ある程度圧縮していただくということで、村井先生の時間の調整と併せて、若干確認ができれば。

例えば2日目の感想・議論枠とか、その後のIGFへの取組に関する意見交換って、これはある程度中心的に議論していただく方って想定してやるんですか。

【山崎】 そうですね。そうしたいところですけど、モデレーターがやっとひねり出せたところなので、ちょっと、モデレーターじゃなくて議論を主導する方が2人とかいけば、一番理想ですね。

【加藤】 それは、それぞれのモデレーターなりに任せるとい感じになりますか。結構時間を長く取っているのです。

【山崎】 そうですね。

【加藤】 オンラインの方が積極的に参加されるかどうかですけど。

【山崎】 その辺はちょっと、何について議論するかとかという見立てを事前に考えて、皆さんにモデレーターから御質問を發して、それで議論していただくというふうに進めないとお通夜になってしまっはちょっと。

【加藤】 かなり時間が遅くなってきている時間なので、どんどん、この2日目の最後のほうは参加者も少なくなるとしたら、盛り上がりが難しいかもしれないです。

【山崎】 合計60分ぐらいに縮めたほうがいいですかね。

【加藤】 そうですね。2日目の感想と60分……。

【山崎】 感想・議論枠は、あまり感想なり議論にならなければ縮めて、最後の意見交換に早めたほうがいいかもしれないですね。

【加藤】 そういう意味では、その間の休憩を取っておいて、その2つで60分とか80分とか書いておいたほうが安全かもしれないですね。

【山崎】 そうですね。その意見交換の内容は、活発化チームの将来も当然対象になると思うんですけど、それ以外にも、インターネットガバナンスの中身についてどういうことを今後議論していくのかとか、あとはユースをどう育成するのかとか、その辺を皆さんの知恵をお借りして、どういうふうにしていくかという議論をしたらいいんじゃないかとは思っているんですけど。

【加藤】 恐らくそのほうがいいんじゃないかなと思います。この場で活発化チームの将来をどうするかという場は、ちょっと違うような気がするのです。日本としてIGFへの取組をどうしたらいいかというインプットをいただくのほうがいいんじゃないでしょうか。

それじゃ、この件は、あと最後のほうの時間の調整を山崎さんをお願いするというので、ほかに御意見がなければ次に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それじゃ、次。この活発化チームの今後の問題についてです。ここに議事を書いていたいていますけれども、前々回に加藤私案ということで、8項目の基本的な考え方を御提案して、前回いろいろとコメントをいただいて、その8項目をブラッシュアップして、さらに具体的に検討するチームに御参加いただきたいということを申し上げたんですが、その後、何人かの方からも活発に御意見をいただきまして、それで、今さらに具体的な案を検討するというをやっています。

検討の内容なんですけれども、もともと8項目の中にも書いてありましたが、実は3つの非常に重要な項目といいますか、仕組みをうまく組み合わせながら、この新しい活発化チームの日本でのIGFを議論する場をつくっていきたいという話を進めていまして、これは1つは、もうこの活発化チームがまさにそれなんですけれども、誰でも自由に参加して、発言して、活動を公開するという、この8項目の中の第2番目に書いた基本方針、これを実現すること。

同時に、今後は法人化をするということで、それに必要な仕組みをつくるという、この2つ目の要素があります。

さらに3つ目として、それらをマルチステークホルダーで維持できるように、いろんなステークホルダーがそれぞれ意見を反映できる場にすることで、そのマルチステークホルダーを維持する仕組みをどうするかという、これが3つ目の重要な要素だというふうに思っています。

例えばICANNならどうしているかとか、IGF自身がどうしているかとか、そういうようなことをいろいろと検討しながら、日本の我々の限られたリソースの中で、この3つの要素をどうやって組み合わせていくのがいいかということ、今検討しています。

いろんな方から前向きな建設的な御意見をいただいています。今の皆さんのお話では、次回、1月の活発化会議には、さらに紙に書いた形で具体的な提案ができるというふうに思っています。今いろんな方の意見を集約しているところです。今日、前の8項目以上に、紙に書いてお出しするという段階ではないんですけれども、もしこの場ででもさらに、今申し上げた、この3つの仕組みをどう組み合わせていくかということを中心に御意見をいただければ、ありがたいというふうに思っております。

私からの報告は、若干中間報告なんですけれども、以上のような内容になっています。何か御質問とか御意見ありますでしょうか。いろいろと御意見いただいた方は、この場をお借りして、またお礼を申し上げます。

特に何もございませんか。前村さんとか、何かコメントとか御意見があれば、いかがでしょうか。

【前村】 ありがとうございます。加藤さんには、私も検討を進めていただいている過程をちょっと拝見させていただいて、それなりの意見も申し述べる機会をいただいたりなんかしまして。

何でしょうか、私はその1年ぐらい前に、これをこういう組織化するのはいかがかというところで、議論を私のほうで提案したりなんかして進めていたわけですけれども、そこからもっと具体的にとても芯がしっかりした、意志の固い提案に基づいてやっているというところは、最初の最初の8つの原則論をまずお示しいただいて、それに加えてやっていただいているということで、引き続きこれはもっとしっかりとして、皆さんが納得できるようなものになっていけばいいなと思っているところです。ありがとうございます、加藤さん。

【加藤】 どうもありがとうございます。ほかいかがですか。私から御指名してもいいんですけれども、もしなければ、こうしていろいろと追加のコメントをいただければと思います。

お名前を拝見しているので、勝手にまたあれですけれども、西潟課長もおいでになりますでしょうか。何かコメントいただくことがあれば。

【西潟】 ではすみません。御指名なので。

【加藤】 まだまだ検討途中だということで、何か簡単でも結構ですけど。

【西潟】 そうですよ。だから私が申し上げたいことは大体毎回議事録という形で、少し言葉が乱暴だったところとかは修正をお願いしてはいますけど、残していますので、皆さんもまた、聞き逃しちゃったとか、まかり間違っても思ってくださいの方がいらっしゃれば、御覧いただければと思いますけれども、幾つかのアジェンダをうまく統合していきゃいけないという作業であることは事実で、そこに今回の活発化チームのチェアからの引き続きといえ、引き続きなのかもしれませんし、加藤さんにこういったイニシアチブを持っていたということは、総務省としても、まずは感謝させていただく次第なんですけれども、それをどう今度盛り立てていけるかという部分もいろいろあろうかと思えますし、そんな意味で、すみません、ここの平場のあれとしては、前回一度紙でお示しいただいているのはあるのであれですけど、総務省以外の人たちのインプットも、多分今加藤さんのほうで、ここではお示しいただけていない。

いただけないというのは変な意味じゃなくて、当然まだ消化もしなきゃいけないでしょうし、いろいろある部分もあるのかもしれませんしという意味で申し上げますけど、そういったところが1月に出てくるものを、お年玉として楽しみにさせていただきたいと、すみません、無責任になるんですけども。

多分総務省としては今のところ、前回の議論なんかで私は申し上げたいことを申し上げているつもりですし、まだ任意団体ではありますけれども、最終的には紙の形で、ここにいる皆さんとコンセンサスが取れる形にできればいいなと思って期待しております。ありがとうございます。



【加藤】 ありがとうございます。どうか引き続き、御支援、御指導、御支持、よろしくお願ひしたいと思ひます。

ほかの方いかがでしょうか。あまりいきなり私のほうから御指名するのもあれですけども、いろんな方からコメントをいただいているので、どうか引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

【堀田】 堀田です。

【加藤】 ありがとうございます。堀田さん。

【堀田】 もう暗黙の御指名があったような気がしてしまう。ちょっと前回打合せで出られなかったんですけど、この8項目、前回ですか、出していただいたのは、おっしゃるとおりだと思ひます。

最初見たときに、方針はいいんだけど、これまでと違う何かがあるという感じがあまりしないなという感じは、実はしていたんですが、これまでのようにボランティアが動くというところは同じにしておくけど、今までよりも今は、周りのエネルギー、周りというのは参加してくれそうな方々、のエネルギーが高い状態なので、その周りが熱いうちに、もう1回、同じかもしれないけど、ボランティアで動かしてみよう。あとは、枠組みを1個つくろうということやってみる。やらないよりはやってみたほうがいいし、やってみる価値はあるのかなというふうに感じましたという、感想で申し訳ないですけど、そう思っています。

【加藤】 ありがとうございます。

立石さん、お願ひします。

【立石】 私も堀田さんと同じで、案にあったような気がしたのであれなんですけど、すみません、ちょっとカメラが調子悪くてつかないんですけど。もう個人的にも、それからJAIPA的にもお手伝いできる範囲。どこまでできるか分からないですけども、この形のものについて、まずはやってみるという形に対して、賛同しますということで、特に反対はございません。1年、2年やっていくうちに、何かさらに次のも出てくるかもしれませんし、現状の、さらに少なくとも体制固めにはなるという形になると思ひますので、協会としても私個人としても、できるだけと。

それから、ちょっとプログラムのほうで出ていましたけどユースに対してどうするかというのを含めても、やっぱり現状分かっている人たちは、何もなくてやってきたからいいみたいなんですけど、若い人たちから見たときにどう見えるかと考えても、やっぱりこういう形でやるのがいいのかなというふうに感じています。

以上です。すみません。

【加藤】 立石さん、ありがとうございます。特にほかございませんか。

それでは、これは年を越してしまいますが、前向きにいろいろと検討が皆さんの御支援で進んでいるというふうに御理解いただいて、1月、次回の会議には、具体的なものをお見せできるようにして、そこで御審議いただくというふうにしたいと思います。

ということで、本日の議題はほぼ終わりですかね。

次回ですけれども、これは山崎さんが、次回はもともとの4週間後ということであるとすると、1月22日の月曜日になるということですが、皆さん、この日程でよろしいでしょうか。リマインドですけれども、今日が、本来であれば25日、クリスマスの日にするべきだったのを、報告会のタイミングからもう少し早めにやったほうがいいということで、1週間前にずらしたので、それを戻すと、次回は1月22日ということなんです。もし御異議なければ、お正月もあって、かなりお休みとかもある期間ですので、1月22日ということで、次回させていただきますと思います。

それでは、何か今日、さらにお話ししたいこと、アジェンダ項目はございますか。大丈夫でしょうか。河内さんからもお話があったように、またもう、今年というか、今度のIGF会議の話も大分進み始めているようですし、いろいろな動きがこれから年明けとともに出てくると思いますので、引き続き、このグループでもよろしくお話ししたいと思います。取りあえず、来週お会いできる方が多いと思いますが、ぜひそれに向けて、引き続き御支援をお願いしたいと思います。

それでは、今日はこれでお開きにしたいと思います。山崎さん、特に来週のために御準備大変ですけれども、どうかよろしくお話しします。

本日はありがとうございました。それではこれで閉会にしたいと思います。